

## 第 1 回懇話会における主な意見と市の考え方について

○：第 1 回での市の回答

→：懇話会後の市の考え方

主な意見	市の考え方
<b>【資料 3：策定方針について】</b>	
● 基本計画策定の目的に「障害のある方、障害者」という言葉を入れて頂ければと思う。	○ 基本計画において、提案頂いた文言を入れさせて頂きたい。
● 策定方針の「全国規模の大会の招致」について、大会規模の招致のためには、観客席 2,500 席では足りない。別に選手の控室が必要になってくる。	→ 観客席数については、「公認プール施設要領（日本水泳連盟）」等を参照し、検討を進める。
● プールと野村体育館の連携について、それぞれの機能を補完でき、国体以外の全国大会を行う上でも、有利な条件で大会招致や運営ができると思うが検討頂きたい。	→ 野村体育館を含めた周辺施設との連携について、基本計画の中で検討を進める。
● 大規模大会を実施しようとする、駐車場は相当広い場所が必要であると思うが、どのように考えているのか。	○ 用地に限りはあるが、「公認プール施設要領」によると、国体レベルの競技場は 200 台程度が望ましいとされている。駅に近く、街中にあることなどを踏まえ、今後検討を進める。
● 利用者が競技レベルの高い人に限られないか。市民には様々な競技レベルの方がいることを考慮してほしい。	○ 幅広い方々に利用していただける施設となるよう、施設整備の方向性等を基本計画で検討したい。
● 整備予定地にあるナイター設備の付いたサッカー場の移転について、どのような考えをもっているのか。	○ 現状を踏まえて代替施設の配慮が必要と考えているが、市内では場所が非常に少ないという状況である。
● 特定競技の都合による水深ではなく、一般市民の方々に幅広く利用頂けるという観点から、可動床は必要である。	→ 幅広い方々に利用していただける施設となるよう、導入機能等について基本計画の中で検討したい。
● 一般利用の割合が多いプールでは、競技者が利用する際に肩身の狭い思いをされることもある。一般利用と競技者は分けて考えた方が利用しやすいのではないか。	→ 御意見を踏まえ、運営方法については検討していきたい。
● 指導者について、早い段階で取組・調整を行わないと、良いプールができて活用しきれないと思う。指導体制を早く考えて頂きたい。	→ 御意見を踏まえ、競技団体をはじめとする関係団体との連携を検討していきたい。
● 市民に施設を開放していく方向性なら、プール以外の付帯施設について基本計画の中である程度考えていくべきである。付帯施設の案を提示して頂きたい。	→ 導入機能等について検討を行い、懇話会に提示していきたい。

主な意見	市の考え方
<b>【資料5：策定スケジュールについて】</b>	
● 滋賀県内に飛込プールが無く、選手が全く練習できていない。1日も早くこのプールをオープンして頂きたい。最低でも平成34年9月に完成というのが希望である。	→ 事業手法等の検討を行いながら、全体スケジュールについては基本計画の中で検討していきたい。
● 策定方針に「事業手法の検討」とあるが、早い段階で整備手法を例示するなど、懇話会で意見交換を行った方が良いのではないか。	→ 事業手法の検討を進めるため、第2回懇話会において、事業手法を例示させていただく。
● 競技用ウェアの着脱に時間が掛かることを考慮し、更衣スペースを充実してもらいたい。	→ 御意見を踏まえ、導入機能や諸室の規模について検討していきたい。 → 第2回懇話会において、他自治体の事例を紹介させていただく。
● 野村公園とプールが道路を挟んで立地することになるため、交通の面で安全対策等を検討いただきたい。	→ 整備予定地の周辺環境等を踏まえ、今後検討していきたい。